

癩病を御おはしはさんと折ありて^寺あ瑞さぬ
くちりよー云傳へりるに今もたりはと云
く即ち村の裏木^連名して書しる。扣あり
文は嘉禄二年に月二日温海嶽で初
河水流立しる。此白髪する老人呻あひり
そ中に温泉沸出しとあり。上人薬師安室
の額ハ何處も同し。ま名の上は温海嶽ハ某
所とあり。世人入湯のうち湯屋までを仏を
禁む。又嶽東詣りもを仏をやりさし。正面の
湯といふよりに又官上は地藏の湯と云あり

熱湯よりして群衆を^加湯の餘を石盤に
海で村中洗濯の湯と云。湯の上は石壇を
設て瓦倉あり。古人地藏堂といふ

同村東の山隈に某所堂あり。本尊のた石
は十二神將有り。享保元年に落し。新に五
湯。花文権現堂と温泉山。長徳寺と彫刻を
けし。禪宗として堂のたはあり。に月八日八講
あり。とそ古來ハ温温泉村永叙寺といふ寺
家別當より。とそ長徳寺に縁起あり。と
い。凡一説を許さし。或人曰を年諸り。其の